

第408回市（入札日 2017年9月15日）

― 出品量回復も、数量・単価とも低調。季節要因に加え、多雨も影響か ―

出品量は672.7m³で、台風被害の影響により著しく少なかった前年の同月（468.6m³）からは大幅に回復したものの、さらにその前年の同月（1,119m³）と比べると少量にとどまりました。平均落札単価も33,826円/m³と、前年同月に比べ、5,089円/m³もの下落となりました。例年、最盛期まで間があるこの時期は、出品量も落札単価も低調ですが、今回の特殊要因として、ちょうど材が展示場に並べられた頃から雨が続き、多くの材にカビが発生して見栄えが悪くなったことも単価に影響したのではないかとのことです。なお、今回の高値トップ3は、すべて官材で、樹種もすべてセン（ハリギリ）でした。

次回（第409回）は10月15日（金）、目標数量は1,000m³、官材および外材の出品予定ありとのことです。

○出品数量

官材・単 桧	190.0m ³	292桧	584本
官材・ロット	76.6m ³	16桧	463本
民材・単 桧	365.4m ³	565桧	1,030本
民材・ロット	49.8m ³	3桧	305本
計	672.7m ³	876桧	2,382本

（樹種別）

タモ78.8m³・228本、マカバ6.9m³・11本、セン71.4m³・227本、ナラ189.3m³・721本、ニレ12.5m³・42本、キハダ5.5m³・17本、クルミ10.2m³・38本、アサダ6.7m³・21本、ホホ8.2m³・31本、エンジュ4.9m³・56本、カツラ18.4m³・39本、ザツカバ26.6m³・69本、シュリ2.2m³・5本、イタヤ19.2m³・78本、サクラ4.9m³・24本、シナ20.9m³・110本、メジロカバ87.3m³・418本、ウォールナット42.6m³・33本、アオダモ0.5m³・6本、その他45.5m³・127本（広葉樹計662.5m³・2,301本）、イチイ6.4m³・75本、クロエゾマツ2.3m³・4本、カラマツ1.5m³・2本（針葉樹計10.2m³・81本）

○販売数量 618.2m³（元落ち率8.1%）

○販売金額 2,091万円（1m³あたり平均33,826円（前回31,842円））

○主要樹種の平均単価（1m³あたり、カッコ内は前回）

タモ	29,582円（24,743円）	キハダ	23,349円（42,040円）
マカバ	37,610円（62,675円）	カツラ	24,742円（21,342円）
セン	24,924円（32,967円）	ザツカバ	20,737円（18,810円）
ナラ	40,190円（36,026円）	メジロカバ	14,425円（34,619円）
ニレ	12,627円（22,831円）		

○高値（1m³あたり、外材のみの樹種・イチイ・エンジュは除く。）

- ①146,000円（セン 4.0m、40cm、1本、0.640m³）
- ②145,000円（セン 3.0m、48cm、1本、0.691m³）
- ③138,900円（セン 7.6m、42cm、1本、1.438m³）

2017年9月22日作成（嶋瀬）